



震災からの復興に向けて



平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災により、青葉区も宅地・建物に甚大な被害をもたらし、未だに住宅の再建もままならずにいる市民もおります。また仙台市は、仙台市震災復興計画を議決し、今後は、五年間で復興を進める実施計画に基づいて、一日も早い復興が出来るよう取り組んでおります。青葉区連合町内会長協議会としても、一日でも早い復興を願い全面的に協力して参る所存であります。

一方、政府は、震災から九ヶ月を経て、ようやく震災復興への第三次補正予算と復興庁の設置を決め、本格的な復興に向けての足掛かりができましたが、スタートの遅れが大きく影響し、今日までのもたついた状況を生み

青葉区連合町内会長協議会 会長 武田 篤夫

出しました。遅れを取り戻すべく、スピード感をもった今後の対応をお願いしたいものです。

今回の大震災では、多数の皆様が避難所生活を経験され、絆の大切さを改めて認識された事と思います。また、町内会を取り巻く環境は、少子・高齢化が進み、会員のニーズの多様化など、町内会の活動が難しい状況になっています。しかし、皆様が経験された絆・地域の支え合いを大切にして、町内会の活性化を図りながら、全力を挙げて震災からの復興に一丸となつて立ち向かっていかれるものと期待しております。

青葉区連協も安全で安心して暮らせる、住みよいまちづくりのため総力をあげて取り組んでおりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

復興に向けたまちづくり



青葉区連合町内会長協議会の皆様には、日頃より市政並びに青葉区政の各般にわたり、ご支援、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

東日本大震災からまもなく一年になりますが、被害のつめ跡はあまりにも大きく、今もなお、以前の生活に戻れない方々が数多くいらっしゃいます。そのなか、震災被災者の支援活動などで、ご尽力いただいております各町内会長さんをはじめ、地域の皆様に心から敬意を表します。

仙台市では、昨年十一月に地域の皆様、多くの関係機関等のご意見、ご提言をいただき、仙台市震災復興計画を策定致しました。本計画では、特に地域の支え合いを重視しておりますが、今後取り組むべき施策においても、地域の皆様と協働しながら一日も早い復興を成し遂げたい

青葉区長 渡邊 晃

いと存じます。さらに、今後の復興に向けたまちづくりを行っていく上でも、家族やコミュニティの絆を広げていくとともに、市民一人ひとりの持てる知恵や力を發揮して、未来への希望につながる復興への歩みを進めていくことが重要であると考えております。

青葉区といたしましても、復興計画の施策を着実に推進しながら、地域の皆様とともに、復興に向けたまちづくりに率先して取り組んで参る所存でございます。区連合町内会長協議会の皆様には、今後とも、特段のご支援とご協力をお願い申し上げたいと存じます。



市政功労者の表彰

■ 市政施行百三十二年記念式 ■

市政の発展に功績のあった方々の表彰式が、十一月十八日ホテルメトロポリタン仙台で開催され、青葉区連協からは、井上養朔氏（旭ヶ丘町内会連合会長）が受賞されました。

町内会役員永年勤続表彰

町内会で永年にわたり活躍されてきた方々の表彰式が、十一月三十日江陽グランドホテルで開催されました。（敬称略）

■ 町内会長特別表彰

中江 西條 典雄（三番関親和会） 八幡 永山 富康（西都北七町内会）

■ 町内会長勤続20年表彰

上杉 大友 一郎（北仙台町内会） 小松島 佐藤 保四（五城親和会）

■ 町内会長10年以上勤続退任表彰

東二 太田 廣茂（広瀬通り町内会） 五橋 北松 治男（青葉土樋町内会） 上杉 佐藤 康子（雨宮町内会） 東六 國府 孝正（宮町中部町内会） 立町 阿部 邦彦（国分町親交会）

■ 町内会長勤続10年表彰

五橋 阿部 秀男（五橋町内会） 伊藤 善昭（上染師町町内会） 安彦 仁（五橋愛清会） 東六 升澤 友勝（東裏丁町内会） 海老 一朗（空堀丁町内会） 小松島 齋藤 博（小松島一丁目町内会） 小島 清一（榎木下町内会） 鹿野 繁（高松中町内会） 旭ヶ丘 井上 養朔（旭ヶ丘町内会） 台原北部 平池 稔（パークタワー台原町内会） 荒巻 松谷 彰（荒巻みどり会） 川平 島田 福男（川平団地町内会） 八幡 及川 弘（セブンスターマンション町内会）

■ 町内会役員特別表彰

桜ヶ丘 井本 福美（桜ヶ丘東町内会） 国見 千葉 忠義（三滝親和会）

■ 町内会役員勤続10年表彰

受賞者 七十三名

■ 町内会長5年以上勤続退任表彰（区長表彰）

受賞者 八名

歴史文化の息づくまちづくり

八幡地区町内連合会 会長 伊藤 巖

当町内連合会は、国道四十八号線沿いの八幡町商店会を中心に、国宝大崎八幡宮、四ツ谷用水など歴史的文化資源に恵まれた、世帯数約七千三百、人口一万三千六百六十人、三十三町内会で構成されています。当地区では、平成十六年に「個性ある地域づくり計画」を策定しました。この計画に掲げられた短期、中期、長期の実践プラン実現に向けて、平成十七年に「八幡地区まちづくり協議会」を設立し、実践活動を進めています。その中から幾つかを紹介させていただきます。

「どんとロード八幡雀踊り」は、平成十八年に国宝大崎八幡宮のご鎮座四百年奉祝記念として、八幡町に在住していた石工が踊り始めたといわれる雀踊りを「伝播八幡井組雀踊り保存会」により実施し、以降も大崎八幡宮・八幡町商店会・仙台雀踊り連盟等の協力により地域に根ざした秋の定例行事として交流が図られています。第六回目の今年も、参加祭連等三十三団体約一千三百名（地域の小学校・中学校の児童生徒も参加）で、午前は、大崎八幡宮の境内で午後は国道四十八号線を会場に雀踊りの輪で埋め尽くし大盛況でした。



方々の憩いの場や文化活動の拠点として利用されています。「八幡杜の館寄席」は、東北大学、東北学院大学両落語研究会とOBで結成の八笑会により毎年春と秋の二回開催し、地域の小学生も高座に挑戦、小話や古典落語も



「中島丁公園」「八幡杜の館」は、旧天賞酒造が所有する公園や建物を仙台市が買い取り、公園は回遊式の日本公園「中島丁公園」として平成十九年に開園し、建物は平成二十一年に「八幡杜の館」として移築オープンし、青葉区より委託を受けて、展示会やイベント開催など地域の

披露しています。

その他にも、「街路灯の照度アップ」「白はとパトロール隊」による防犯、交通安全対策など、計画の実行確保を図り、安全で安心な住みよいまちづくりに努力しています。

3・11震災から学ぶべきもの

吉成学区連合町内会 会長 熊谷英昭

3・11の震災は誰もが初めてこの地で経験する大地震でありました。三年前に連合町内会として防災組織委員会を立ち上げ、災害に備えて自助共助の勉強会を行い、各町内の防災マップを全世帯に配布しました。六月十二日は、県が指定した防災の日に当たり、地元吉成小学校で予定されていた平成二十三年度の防災訓練に備えて、三月十四日の連合町内会、防災組織委員会、社協役員、地元小中学校、サロン活動団体等を集め、共助、避難の受け入れ方などの、大々的な一回目の勉強会を準備している矢先に、この震災の本番を三日前に体験してしまいました。

私は、この災害に於ける防災に関しては、全てが後手になり、悔やんでおります。そしてこの災害で多くの事を学びました。



昨年十月から防災委員会を再開、防災訓練は原点初心に帰り、町内会の班編成、班会議の実施、安否確認、一時避難場所の設定、連絡網の体制確立など、防災マップや全ての見直しをはかり、その地域にあった防災訓練の実施を行う予定であります。各町内会には災害発生時に備えて食料や飲料水の備蓄、炊き出し用具や、この地域に対応した防災機器の備品の購入リストアップなどの見直しを行い、整備をしたいと考えております。

太平洋沿岸部での津波・火災による凄まじい爪痕、東北三県で約一万五千七百七十人の犠牲者が出てしまいました。また、私達人類が作った原発、この自然界に無い放射能汚染の二次災害の追い討ちにあい、他の地域で生活を余儀なくされている人達が沢山おられます。昔の古文書や石碑、そして神社等に残された先人の警

鐘を侮り、この限らない地球の自然活動に対する防御を甘く見て、事が起こってから想定外と言う始末、何が起こるか分からない自然界の猛威、私達は現代科学の英知と粋を集め、先人の言い伝えや教訓に、倍以上の防御対策整備と防災避難訓練を講じていたならば、多くの犠牲者を出さずに済んだのではないのでしょうか。津波の避難、原発の事故などは、私達人間の奢りから来ているのではないのでしょうか。

過去を変える事は出来ません。未来を変えることは出来ます。そしてもう一度見直しましょう、防災を。

新任町内会長研修会

六月三十日、仙台市役所において、新しく町内会長に就任された方々を対象とした研修会を開催しました。

新任町内会長百八人のうち、六十三人の参加があり、当協議会で作成した「町内会活動の手引き」を参考に、青葉区の概要や地域活動に密着した各種制度について、青葉区まちづくり推進課、区民生活課、道路課から説明がありました。

連合町内会長移動研修会

十一月二十七日、連合町内会長を対象とした研修会を開催しました。

十七人の連合町内会長が参加の下、東日本大震災による宅地被害があった折立地区及び作並地区における現地調査と仙台市天文台の視察を行いました。

町内会長研修会

十一月二十四日、江陽グランドホテルにおいて、区内の全町内会長を対象に、研修会を開催しました。

町内会長三百三十九人が参加の下、震災復興本部震災復興室長の寺内譲氏から「仙台市震災復興計画について」と題して講演をいただきました。

町内会会員研修会

十二月九日、エルパーク仙台六階ギャラリーホールにおいて、町内会の会員を対象に研修会を開催しました。

青葉区保健福祉センター家庭健康課長の酒井淑子氏から「災害後の健康管理」というテーマで講演があり、九十四人の町内会会員の方が参加しました。





仙台市青葉区連合町内会長協議会会員名簿

(平成23年11月1日現在)

No	役職名	氏名	連合会名
28		鈴木幸夫	木町通学区連合町内会
27		菅原甚左衛門	立町地区町内会連合会
26		阿部守枝	中山学区連合町内会
25		花淵蔵之助	北仙台地区連合町内会
24		大友洋平	荒巻地区町内会連合会
23		吉見宣夫	台原北部連合町内会
22		佐々木清司	台原東部連合町内会
21		小林正直	台原地区町内会連合会
20		井上養朝	旭ヶ丘町内会連合会
19		佐竹富次	旭ヶ丘南部連合町内会
18		根本勁	小松島学区町内会連合会
17		碓井克夫	中江地区町内会連合会
16		高橋健一	北六地区連合町内会
15		海老一郎	東六地区連合町内会
14		七井英雄	上杉地区連合町内会
13		北松治男	五橋地区連合町内会
12		太田廣茂	東二地区連合町内会
11		相澤博彦	中央通り連合会
10		三田恵介	東一番丁連合会
9	会計監事	袖澤勝義	川前地区連合町内会
8	会計監事	今野均	片平地区連合町内会
7	会計監事	佐々木宗	折立地区町内会連合会
6	会計	千田文彦	国見地区連合町内会
5	総務	齋藤和	南吉成学区連合町内会
4	副会長	島田福男	川平学区連合町内会
3	副会長	齋藤貞夫	通町地区町内会連合会
2	副会長	畑強	愛子地区連合町内会
1	会長	武田篤夫	桜ヶ丘学区連合町内会

平成23年	平成24年
4・15	1・31
4・22	2・16
5・17	3・28
6・10	
6・22	
6・30	
9・13	
9・26	
11・24	
11・27～28	
11・30	
12・6	
12・7	
12・9	

青葉区連協の主な活動

No	氏名	連合会名
29	伊藤巖	八幡地区町内連合会
30	千葉賢吾	貝ヶ森地区連合町内会
31	庄子静雄	広瀬地区連合町内会
32	庄子晟	上愛子学区連合町内会
33	早坂晃弥	作並小学区連合町内会
34	千坂幸衛	大沢小学区連合町内会
35	熊谷英昭	吉成学区連合町内会
36	庄子勝壽	大倉地域連合町内会
37	庄子孝一	落合栗生連合町内会

平成二十三年度 地域懇談会

「地域懇談会」は地域の様々な問題について、地域と行政が話し合う会議です。平成二十三年度は、八幡、北仙台、通町、上杉、国見・貝ヶ森、折立、桜ヶ丘、小松島、川平、立町、北六の各連合町内会で開催され、地域防災について、話し合われました。



お知らせ

- 町内会長バッジについて
町内会長が交代した場合は、事務の引継ぎに併せて町内会長バッジの引継ぎもお願いいたします。なお、バッジを紛失・破損された場合は、区連協事務局までご連絡をお願いします。
- ホームページアドレス
青葉区連合町内会長協議会のホームページを開設しております。アドレスは次のとおりです。
<http://www.sendai-aoba.jp>

編集後記

平成二十三年度の青葉区連協だより第24号が発刊となりましたので、お届け致します。原稿を執筆された方々、編集に携われた方々に深く敬意と感謝を申し上げます。さて、一年前に発生しました東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしましたが、一方で、家族の絆、隣近所の絆、そして地域の絆の大切さを改めて実感する出来事でもありました。今年も、この絆をさらに深め、地域の復興に向けて努めてまいりますので、町内会の皆様方におかれましても、特段のご協力をお願い申し上げます。

(編集委員 畑・齋藤・島田)

